吾妻山

火山活動評価:静穏な状況(レベル1)

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

現在の火山活動度レベルは1です。2005年2月1日の導入以降、レベル1が継続しています。

		最近の活動状況の推移																														
活発(レベル3)		゚゚゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚	葟λ																													
やや活発(レベル2)	(2005.2																														
静穏(レベル1)			\blacksquare		\blacksquare																					=	=				_	
-	2005													2006												2007						

概況

・噴気などの表面現象の状況(図2)

上野寺(大穴火口の東北東約 14km)に設 置してある遠望カメラでは、大穴火口(一 切経山南側山腹)の噴気の高さは 10m以下 で、噴気活動は低調な状態が続いています。

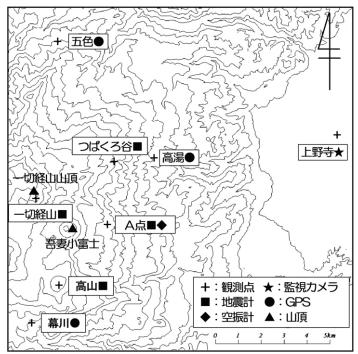
・地震や微動の発生状況(図3)

火山性地震は少ない状況が続いています。 火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図4~7)

山体周辺で行っている GPS 連続観測では、 火山活動によると考えられる変化は観測され ませんでした。

1~2日に行ったGPS繰り返し観測では、 2006年7月頃からの地震増加に伴い、大穴・旧火 口付近の浅い場所での膨張を示していた地殻変動は、収縮に転じました。



吾春山 観測点配置図

・熱活動の状況(図8~10)

8月1~2日に実施した大穴火口付近の現地観測では、赤外熱映像装置1)による地表面温度、およ び噴気、地中温度は前回(2006.9.20)と比べて大きな変化はありませんでした。

1)赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所か ら測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定さ れる場合があります。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています(承認番号 平17総使、第503号)。

- 1 -

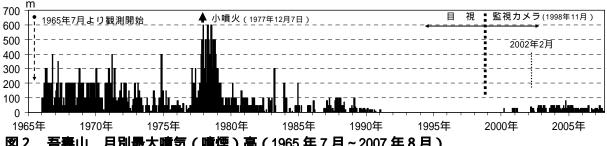
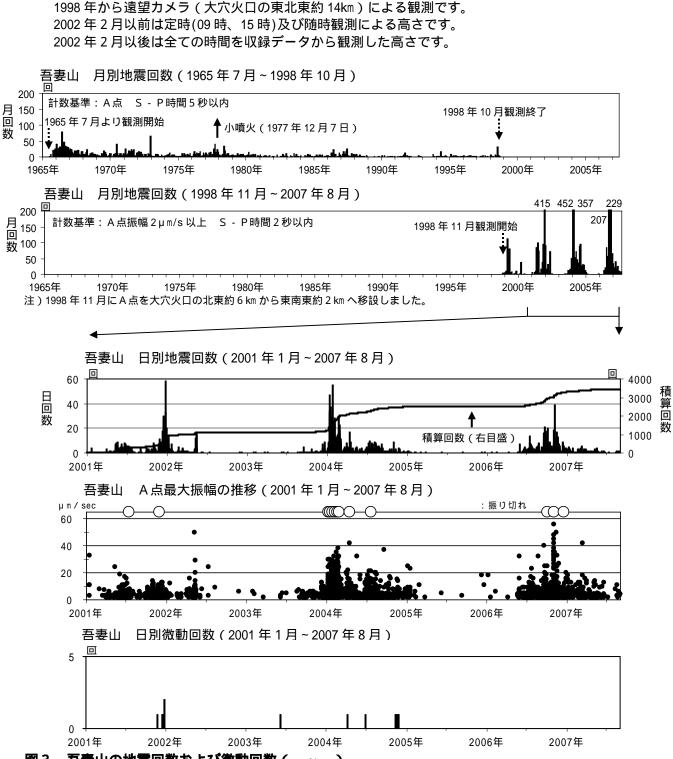


図 2 吾妻山 月別最大噴気(噴煙)高(1965年7月~2007年8月)

1998 年以前は福島地方気象台(大穴火口の東北東約 20km)からの目視観測です。



吾妻山の地震回数および微動回数(

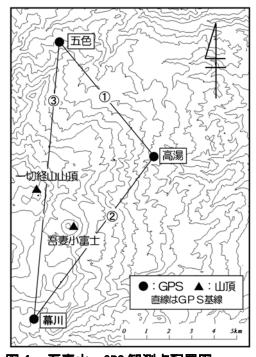
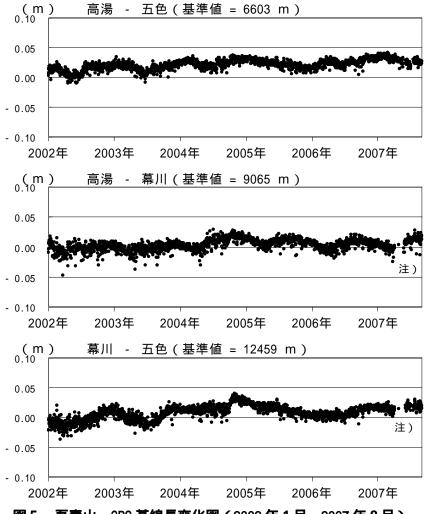


図4 吾妻山 GPS 観測点配置図 GPS 基線 ~ は図5の ~ に対応しています。



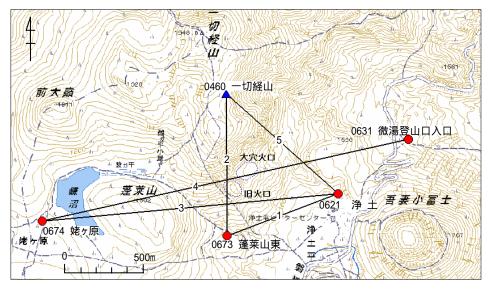


図6 吾妻山 GPS繰り返し観測の各観測点および基線の位置

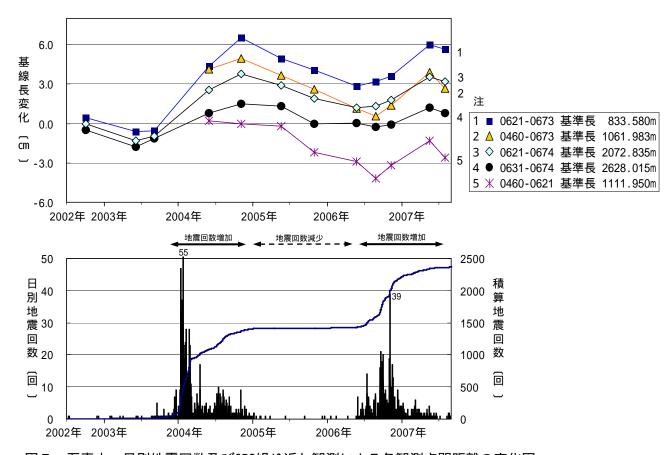


図7 吾妻山 日別地震回数及びGPS繰り返し観測による各観測点間距離の変化図 (2002年10月~2007年8月)

昨年(2006年)7月頃から、地震回数の増加に伴う大穴火口・旧火口付近の浅い場所で膨張を示す変化が観測されていましたが、今回の繰り返し観測の結果を合わせると収縮に転ずる変化が見られます。このような変化は、2003~2004年に地震活動が活発化したときにも見られました。



図8 吾妻山 赤外熱映像観測地点図 : 赤外熱映像撮影地点および撮影範囲

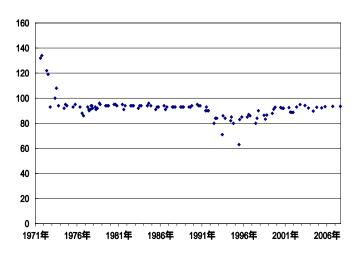


図 9 大穴火口縁 (W-3b)の噴気温度変化図 (1971年8月~2007年8月)

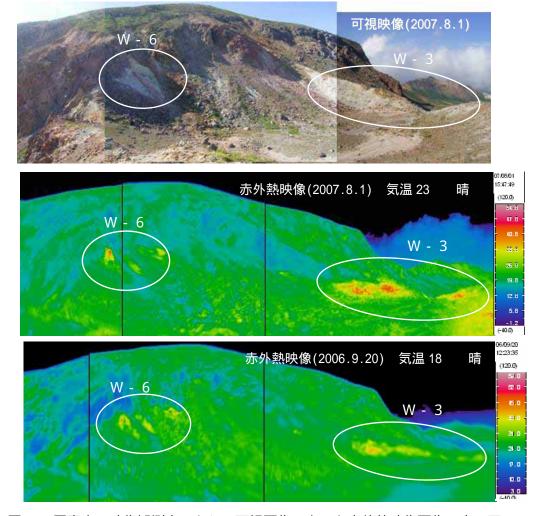


図 10 吾妻山 映像観測点 4 からの可視画像(上)と赤外熱映像画像(中、下) 赤外熱映像画像で色のついている領域は周囲に比べて温度の高い領域(地熱地帯)を示 しています。前回(2006.9.20)と比べて大きな変化は見られません。 なお、赤外熱映像では、日射の影響で観測点(W - 3、W - 6)以外でも温度が高く なっている所があります。